

教科教育専攻

家庭科教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

生活を科学的に学び、児童生徒の生活自立を支援するための
生活指導力や健康指導力を身につけた教員を育てます。

◆ 学びのポイント

1 少人数で学び、 高い専門性をつける

少人数での講義、実験、実習、演習の授業を通して、生活における人と環境の関連を学びます。健康で豊かな生活のあり方を科学的に学び、児童生徒に対する生活指導力や健康指導力を身につけます。



「食品栄養学実験」では、栄養素の消化・吸収・代謝および食品成分の定量などの実験を行い、実験の手法やデータ処理を学びます。実験結果の考察から、栄養学・食品学の知識が深まります。



文献学習やフィールドワークから地域について考えます。「地域生活論」



調理の知識や技術、調理実習における指導方法や調理室の管理の仕方も学びます。「調理学実習」

2 実践的に学び、指導力を磨く

学校や地域と連携した教育実践や見学会、学外学習活動など、実践的な学びも大切にしています。



保育所で子どもと触れ合いながら保育のあり方を考えます。「保育学(実習を含む。)」



小学校のクラブ活動で手芸や調理を教えながら、実習指導の工夫を考えます。

◆ 学びの領域

生活を構造として とらえる

「共生」「健康」の認識にたち、着る・食べる・住まう・育てる・家庭生活を営むことを学びます。さらに、家庭科教育の立場から人間の発達段階と生活を関連づけてとらえます。



家庭科のプロフェッショナルを目指します！(2020年度新入生)

家庭科教育専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	家庭電気・機械 及び情報処理			教育実習 事前指導		家庭科 授業設計
3・4時限	栄養生理学	母と子の 健康科学		教育実習 事前指導		学校支援 実践
5・6時限	中等教科教育法Ⅲ (家庭)	衣生活論		食品栄養学 実験	生徒指導・ 教育相談Ⅱ	
7・8時限	生活統計学	地域生活論		食品栄養学 実験	被服構成学 実習Ⅰ	
9・10時限	食生活論				被服構成学 実習Ⅰ	



被服構成学実習Ⅰ

私たちは浴衣を製作しました。この授業では、小中学校の被服製作に関する基本的な知識や技術を身につけます。



生活統計学

統計の基本的考え方を理解するとともに、様々な資料やデータから得られた「数値」の持つ意味や雰囲気を読み取るために必要な知識・技術を学びます。



中等教科教育法Ⅲ(家庭)

学習指導案の作成や模擬授業、授業研究などを通して、知識を深めつつ家庭科の指導力を高めます。

Student's Voice 在学生の声

「講義・実験・実習の授業形式で、様々な領域から「生活」について学べます！」



家庭科教育専修3回生

藤原由麻さん (滋賀県立 守山高校出身) 林 築さん (栃木県立 石橋高等学校出身) 南野有紀さん (名古屋市長 向陽高等学校出身)

家庭科教育専修では、私たちの生活に欠かせない衣食住の他、家族や保育、消費生活について学びます。授業は1回生では主に講義を、2回生以降では、実践力を身につけることができる実験や実習が多く用意されています。また、少人数で授業を受けるため、先生との距離が近く、手厚い指導を受けることができます。さらに、主免許・副免許を合わせると、小学校、中学校(家庭)、高等学校(家庭)の教員免許を取得することも可能です。

家庭科教育専修は、3回生が1回生に手料理を振る舞う機会があったりと、先輩後輩の仲がいいことも特徴の一つです。ぜひ私たちと一緒に学びましょう。

主な開講科目

栄養学／家庭経営学／住居学(製図を含む。)家族関係学／保育学(実習を含む。)/調理学実習／被服構成学実習Ⅰ・Ⅱ(実験を含む。)育児学／衣生活論／家族福祉論／地域生活論／食品栄養学実験

取得できる免許状

・[初等教育履修分野]小学校教諭一種 等
・[中等教育履修分野]中学校教諭一種(家庭) 等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

卒業生の大半が小・中・高等学校の教員として活躍しています。大学院へ進学したり、一般企業へ就職する学生もいます。毎年、全員が希望する進路へ進んでいます。

教員および専門分野(令和2年5月1日現在)

・杉山 薫教授／食物学
自閉スペクトラム症者の味覚特性
・立松 麻衣子教授／家庭経営学
高齢者の生活、地域居住
・中川 愛准教授／保育学
対乳児行動に関する研究
・村上 睦美准教授／家庭科教育、食物学
消費者教育、健康と食との関わり